

日本鐵鋼協會記事

I. 昭和24年度第18回理事會。日時(25-1-11(水)15時~18時30分) 會場 協會々議室。出席者(會長) 山岡 武。(副會長) 志村清次郎(理事) 芥川 武 菊池浩介 佐々木吉備三郎 横山均次(前會長) 依國一 渡邊三郎 吉川晴十 三島徳七(監事) 田中清治 笹部 誠(常務委員) 石田四郎 石原善雄 俵 信次 森 龍郎 柳 武(主事) 金谷三松

報告事項

1. 昭和24年度第10回編集委員會。日時 昭和24年12月21日(水)16時30~18時30

場所。協會會議室。出席者(理事) 芥川武君 菊池浩介君(編集委員) 佐藤忠雄君 兒子 茂君 長谷川正義君 三橋鐵太郎君 安田洋一君 吉田道一君(主事) 金谷三松:(報告) 1 昭和24年12月號は12月26日竣成の豫定(双文社) 2. 昭和25年1月號は1月20日竣成の豫定(博洋社) 3. Reed氏の講演は11月14日 G.H.Qより許可ありしにより12月號に掲載のこととせり、4. 伊太利書籍取扱店要求に對しては前委員會の決議通り回答済み(協議) 1. 昭和25年4月號原稿選定の件一決定。2. 俵賞受賞者推薦の件一次回までに選出のこと 3. 大會實施方法の件一決定、豫定表原案通り實施のこと。

2. 昭和24年度文部省科學研究費請求の件(請求書發送済)

協議事項

1. 4月總會に於ける改選役員及び表彰者候補者別表の通り推薦の件(別表略) 役員は決定表彰者は次回迄研究
2. 今期總會に際し定款中改正の件 a. 贊助會員は個人會員に限ることを明示すること承認 b. 支部長は前會長と同様理事會及び評議員會に出席し得ることとする承認 c. 定款第37條中「且ツ其用途ヲ指定スルコトヲ得」の次に「但シ指定ノ事業ヲ遂行シ能ハザル事情ノ生ジタルトキハ評議員會ノ決議ニヨリ適宜ノ處置ヲ講スルモノトスル」を入れること承認

3. 會員名簿發行の件 決定 竣工期日 今秋

[參考] a. 体裁 現協會名簿通り B型 6號

b. 發行部數 約4,000冊を目標とするも詳細は豫約募集の上決定す。

c. 價格 賣値 1冊100圓の豫定

4. 昭和25年度初頭行事期日豫定一覽表の件 承認

5. 講演大會開催準備の件 承認。更に1月30日頃事務打合會議を實施のこと。

6. 入退會及會員異動の件 承認。

7. 昭和24年12月收支決算審議の件 承認

8. 協會事務員健康保健月掛金半額2,306圓25を支給するの件 承認

II. 日本鐵鋼協會 昭和24年度第1回臨時總會報告

日時 昭和24~10~15 正午12時 會場 八幡市 日本製鐵株式會社 八幡製鐵所

出席者 正會員248名 正會員委任出席者4,072名 合計出席者 出席者/現在總員 4,072/4,072

議事。正午 山岡會長 議長席に着き開會を宣し。議事に先ち會計の現狀を説明し滿場一同の承認を得次で左記議事に入る。1. 定款34條の入會金正會員50圓を80圓に學生會員20圓を30圓に値上げの件。2. 同第35條正會員の會費1ヶ年300圓を500圓に學生會員120圓を200圓に値上げの件 3. 第36條 會費を一時に3,000圓以上を納むるものは爾後會費を納むるに及ばずの件削除。以上説明を了り意見の有無を求めしに“異議なし”、“贊成”の呼聲あり、滿場一致異議なく原案可決。尙ほ本件は昭和25年1月1日より實行のことも併せて可決を見た。之れにて終了時に12時20分

III. 日本鐵鋼協會 第38回秋季講演大會記事

日時 昭和24年10月15日(土) 講演第1日(正午臨時總會)

昭和24年10月16日(日) 講演第2日

昭和24年10月17日(月) 見學第1日

昭和24年10月18日(火) 見學第2日

會場 講演 第1會場 八幡市 日本製鐵株式會社 八幡製鐵所本事務所第一會議室
 第2會場 同 上 技術研究所 講演室
 第3會場 同 上 技術研究所 調査課室

見 學

見 學 第 1 日 (24-10-17)		見 學 第 2 日 (24-10-18)	
班別	見 學 場 所	班別	見 學 場 所
A 班	<p>▲八幡製鐵所(晝) 9時30～分15時 第二製鋼工場 第二厚板工場 一分塊, 軌條工場 硅素鋼板工場 洞岡溶鑪爐 八幡市枝光——西鐵北九州枝光線 北本町(本事務所前)下車同所技術研究所集合(業務)製銑, 製鋼, 鋼材。</p>	D 班	<p>▲東洋製鐵株式會社戶畑工場10時～10時10分 戶畑市汐井崎——西鐵北九州戶畑線終點 戶畑下車又は省線戶畑驛下車徒歩約5分 (業務) 罐詰用空罐, 雜罐 ▲日本水産株式會社戶畑支社 10時50分～11時40分 戶畑市汐井崎——順路同上 (業務) 水産物加工製氷, 冷凍 ▲八幡製鐵所戶畑ストリップ工場(晝) 12時～15時 西鐵北九州戶畑線幸町下車 徒歩約5分 西門前集合 (業務) 熱延, 冷延, 帶鋼及びブリキ</p>
B 班	<p>▲黑崎窯業株式會社(晝) 10時～12時30分 八幡市藤田——西鐵北九州本線陣山下車 徒歩約5分 (業務) 耐火煉瓦, 耐火モルタル ▲安川電機製作所 13時～14時 八幡市藤田——省線黑崎驛下車又は西鐵北九州本線黑崎驛前(又は田町)下車 徒歩約5分 (業務) 電動機, 附屬機器 ▲三菱化成黑崎工場 14時10分～16時 八幡市藤田五段新開——西鐵北九州本線 黑崎車庫前下車徒歩約10分 (業務) 硫安, 醫藥品, コークス</p>	E 班	<p>▲門鐵小倉工機部 9時30分～11時30分 小倉市金田——西鐵北九州本線金田下車 徒歩約5分 (業務) 各種車輛修理, 鑄鐵, 車輛部品 ▲小倉製鋼小倉製鐵所(晝) 12時～15時 小倉市許斐町——省線小倉驛又は西鐵北九州本線小倉驛前下車 徒歩約10分 (業務) 一般鋼材, 二次製品</p>
C 班	<p>▲東海鋼業株式會社 9時30分～10時40分 若松市濱町開——若松渡船場より徒歩 約15分 (業務) 鋼板, 條鋼 ▲九州造船株式會社 10時5分～11時50分 若松市濱町開——若松渡船場より徒歩 約20分 (業務) 鋼船, 鑛山機械等 ▲日立製作所若松工場(晝) 12時～15時 若松市惠比須通8丁目——若松渡船場より 徒歩約20分 (業務) 鋼材ロール, 鑛山機器等</p>	F 班	<p>▲日立製作所戶畑工場(晝) 10時～12時40分 戶畑市明治町——西鐵北九州枝光線沖臺 通下車徒歩約5分 (業務) 可鍛鑄鐵, 鑄鋼品, 車輛部品等 ▲三菱化成牧山工場 13時～15時 八幡市依光——西鐵北九州枝光線牧山又 は堂山下車徒歩約3分 (業務) 板硝子, 曹達類 ▲大和工業八幡工場 15時10分～16時 八幡市枝光——西鐵北九州枝光線枝光驛 前又は省線枝光下車徒歩約2分 (業務) 丸釘</p>
		G 班	<p>▲東京製鋼小倉工場(晝) 10時～12時30分 小倉市砂津——西鐵北九州本線砂津又は 富野下車徒歩約10分 (業務) 鋼索 ▲東洋陶器株式會社 13時30分～14時30分 小倉市篠崎——西鐵北九州本線魚町下車 徒歩約20分 (業務) 衛生陶器, 食器 ▲不二越壓延小倉工場 15時～16時 小倉市東港町——西鐵北九州本線大門下 車徒歩約10分 (業務) 壓延加工, 鑄鋼品</p>

出席者 出席申込數 439 名に對し講演會出席 第1日 350 名 第2日 250 名
 講演數 第1日 33/33 第2日 48/48 見學工場は何れも超満員

八幡製鐵所での講演大會は昭和 6 年以來のことゝて久振り日鐵八幡製鐵所を始め北九州の各工場見學の好機會が與へられたので、參會者一同異常の喜びを以て集合、開會第1日定刻に至るや實行委員長角野尙徳君の開會の辭に次で、會長山岡武君登壇會務の報告あり、會計の現状今回臨時總會にて會費の値上げ不得止の事情を具に述べせらる 一同承認 一變つて協會實施中の研究部會の模様に関し説明あり、更に各部會委員長の部會別大体經過の報告があつた。

正午 12 時 臨時總會が開かれ(その狀況は前述の通りに付き略す)午後 1 時から豫定の通りの講演に移る終始實行委員諸君の非常な御努力で會務の遂行と云ひ會場の設備、見學の便宜等至れり盡せりの御厚意で 出席者一同は非常な満足で此の大會を終了することが出来たのは大なる喜びであつた。

尙ほ 10 月 16 日講演會第 2 日の夜には日鐵高見俱樂部で今回大會出席のため出張の本部役員、大學諸先生、主なる會社工場側諸君と八幡製鐵所主要職員の方々との懇談慰勞の會合の一時が與へられ偶々 G.H.Q の用務で出張中のヒル君の繰合せ出席を得て 歡談盡きず、最後に出席各員の 5 分間演説には平常には窺はれない透逸の珍談の簇出もあり今迄になき團樂の一時を見たことは思はざる本大會の餘慶であつた。

高周波



表面焼入

製造製作並ニ 焼入引受



東京高周波電氣爐株式會社
東京都目黒区中目黒一〇九七電話大倉二四七五

合金鐵・製鋼原料
 電熱線・不銹鋼
 タンガロイ工具
 カーバイド

新陽金屬株式會社

東京都中央區京橋一の二大阪商船ビル
 電話京橋(56)613・3044
 出張所 新潟縣直江津町川端區
 電話直江津 (44)6番